

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
26 鈴鹿市	対談項目1 『ものづくりのまち』で『ものづくりを学びたい』	県内の高等学校の今後のあり方について	<p>昨年7月に行った「市内高等学校への「工業に関する学科」又は「工業課程」の設置について」の要望事項について、どのように受け止められたか。</p> <p>また、人口減少、少子高齢社会へ移行するなかで、特色ある学校づくりも必要であると感じますが、今後の本市の取組の参考としていきたいと思しますので、三重県内の高等学校全体のあり方（統合・再編など）について、情報をいただきたい。</p>	<p>県立稲生高校は普通科の中に類型の1つとしてモータースポーツ類型があり、自動車工学、自動車整備、モータースポーツ概論等を設置している。</p> <p>鈴鹿市内への工業高校の設置についてだが、人口が増加局面である場合には普通科のニーズが高く、また減少局面においては地域の特色に合わせた専門的な人材を養成するニーズが高まっていると認識している。</p> <p>たとえば、この類型を発展させて科目の並びに工業関連の科を設置することは可能かと考える。新たに学校の設立は難しい。</p> <p>ポイントは①企業と連携できるか、②現在鈴鹿市に住んでいる中学生や保護者の皆さんの学び場に関するニーズの2つ。この2点をみながら、どう発展させていくかを鈴鹿市さんと連携して検討していきたい。</p> <p>鈴鹿を含めた中勢地域はゆるやかに子どもの数が減少していくので、統廃合はすぐにはしないが、少しずつ募集定員を減らしながら学校の適正化を図っていこうと考えている。</p>